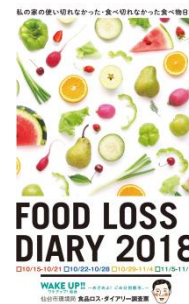


ワケアップ！仙台・秋のごみ減量キャンペーン 2018 実施報告

今秋のごみ減量キャンペーンは、家庭ごみの組成割合で最も多い「生ごみ」削減を図るため、特に家庭から出る生ごみの約 3 割を占める「食品ロス」に着目した取り組みを実施した。

1 食品ロス市民モニター調査 ※調査結果とりまとめ中

- ・ 平成 30 年 10 月 15 日～11 月 11 日（4 週間）の期間で実施
- ・ 市民モニター（事前申込）429 人に調査票「食品ロス・ダイアリー」を送付し、期間中に家庭で廃棄した「手つかず食品」と「食べ残し」を記録（調査票回収：330 人）
- ・ 調査票への記入自体に食品ロス発生抑制効果が認められた（食品ロス廃棄件数が 1 週目と 4 週目と比較して、手つかず食品が約 26%、食べ残しが約 23%減少）。
- ・ 主な感想として、「記入することにより無駄をなくそうという意識が高まり、食品ロスを減らすことができた」など分別意識向上につながる感想を得ることができた



2 食品ロス削減リーダー養成講座

食品ロス削減に関する市民の先導役を養成するため、料理研究家で一般社団法人食エコ研究所代表理事の島本美由紀氏を講師として公募による受講生 20 人に対して養成講座を実施。今後、市民啓発の場で講師を担っていただく予定。

3 食品ロス削減セミナー（10 月 13 日（土）今泉リサイクルプラザ）

市民に対して食品ロス問題への関心喚起と、食品ロスを削減するための工夫を生活に取り入れてもらえるよう「食品ロス削減リーダー養成講座でも講師を務めた島本美由紀氏から冷蔵庫収納・食品保存のコツなど家庭でできる食品ロス削減の工夫を紹介。参加者 45 人。



4 フードドライブ（未使用食品の有効活用）

家庭や職場にある未使用食品を持ちより食品を必要な人や施設に寄付する「フードドライブ」を市内 7 カ所で実施。あわせて区民まつりなど 10 月から 11 月までに開催されたイベントで実施。期間中の回収量は 900 品目 470 kg。



5 生ごみ堆肥化モデル事業

太白区ひより台地区をモデル地区として、市民団体「仙台生ごみリサイクルネットワーク」と町内会との連携により生ごみ堆肥化の普及促進に関する試験的な取り組みを実施。地域で堆肥化の先導役を担う住民 20 世帯にコンポスターを配布し、生ごみ堆肥化による家庭ごみ減量を図る支援を実施。

6 啓発イベントの実施

(1) モットイナイマルシェ 平成 30 年 10 月 13 日（土）開催/参加者約 500 人

秋キャンペーンのキックオフイベントとして、今泉リサイクルプラザ駐車場において、規格外野菜などを使用したレシピの試食や生ごみ堆肥化により栽培した有機野菜の試食など、食べものの大切さをPRする目的としては初めてとなるイベントを開催した。



郡市長も参加

(2) イオン仙台店店頭啓発 平成 30 年 11 月 6 日（火）開催

学生によるごみ減量・リサイクル推進のプロジェクトチームである「Wake Up Campus」と一緒に通行人に対して食品ロスに関するアンケートや啓発活動を実施。アンケート回収枚数 670 枚。



7 今後の予定

・ 第 2 回食品ロス削減セミナー「栄養をロスなく摂取できる調理法のコツ」

「その調理法 9 割の栄養を捨ててます！」監修者の東京慈恵会医科大学附属病院栄養部濱裕宣氏を講師として食材の栄養素を無駄なく摂取できる調理方法のコツを紹介。せんだいメディアテーク 7 階スタジオシアターで 150 人（抽選）を対象に 1 月 28 日（月）開催予定。

・ 第 3 回食品ロス削減セミナー「賞味期限のウソ・ホント？ 食品ロスの新常識」

「賞味期限のウソ：食品ロスはなぜ生まれるのか」著者のジャーナリスト井出留美氏を講師として、国内外における最新の食品ロス問題の情報と食品ロス削減の取り組みを紹介。仙台市役所 8 階ホールで 200 人を対象に 2 月 16 日（土）開催予定。

・ 食品ロス調査に関する振り返り

上記第 3 回食品ロス削減セミナーの開催と合わせて食品ロス・ダイアリー調査に参加した方を対象に、今後の食品ロス削減の取り組みを検討する振り返りを実施予定。